

2009年5月15日

## 東京急行電鉄とサントリーミドリエが共同で 田園都市線・大井町線二子玉川駅ホーム待合室の壁面を緑化します

東京急行電鉄株式会社  
サントリーミドリエ株式会社

東京急行電鉄株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）とサントリーミドリエ株式会社（本社：東京都港区台場、社長：金山典生）は、サントリーミドリエが開発した新素材『パフカル』を使った緑化システム「ミドリエ」により、東急田園都市線・大井町線二子玉川駅1・2番線ホーム（下り）の待合室壁面を緑化します。期間は、2009年5月23日（土）から1年間の予定です。

東京急行電鉄では、「自然環境との融和」を目指した経営の一環として、鉄道車両や駅空調の省エネルギー化、沿線緑化などに取り組んでいます。一方、サントリーミドリエでは、新素材『パフカル』により、土を使わない新しい緑化システムを開発し、都市のヒートアイランド現象の抑制やCO<sub>2</sub>排出量の削減に寄与しています。今回、多くのお客さまがご利用になる二子玉川駅の待合室にサントリーミドリエの緑化システムを採用し、駅構内における環境改善を試みます。

今後、2社共同でアンケート調査を実施し、駅構内における緑化の可能性や、お客さまが感じる癒しの効果、企業イメージに対する評価などについて検証します。

東急田園都市線・大井町線二子玉川駅ホーム待合室緑化の概要は、別紙のとおりです。

現在の二子玉川駅待合室



緑化後のイメージ



(別紙)

### 東急田園都市線・大井町線二子玉川駅ホーム待合室緑化の概要

場 所	東急田園都市線・大井町線二子玉川駅(東京都世田谷区玉川2-22-13) 1・2番線ホーム(下り)待合室
設置期間	2009年5月23日(土)から1年間(予定) 5月18日(月)から、緑化工事を行います。
緑化システム	「ミドリエ」は、サントリーミドリエ株式会社が独自に開発した新素材『パフカル』を使用した新しい緑化システムです。『パフカル( )』は、土を使わず、軽く、通気性に優れるため、植物がよく育つうえに、取り扱いが簡単という特長があり、屋上緑化や室内外の壁面緑化に最適です。このシステムは、植栽のレイアウトも自由で、さまざまな場所での「緑のある快適な空間づくり」が可能です。特に、土を使用しないことから、飲食店をはじめとした店舗や病院などにも適しています。 ( )パフカル:ウレタンをベースに当社が開発したスポンジ状の新素材。やわらかくて“軽いパフ”をイメージさせ、さらに画期的な技術の象徴として「パスカル」の名前に由来したネーミングです。

(参考)

今回緑化する待合室の壁面には、東急グループが環境に配慮した事業や保全活動などに使用しているロゴマーク“WE DO ECO.”を表示します。このマークは、東急グループ全体が一体になって、環境に対する企業姿勢を表現していくことにより、東急グループの環境活動への理解を深めていただくことを意図して、2000年に制定したものです。



以 上